

かめのり大学院留学アジア奨学生

月次報告レポート

(2017年11月)

私にとって、11月は「会議の月」でした。この一ヶ月間において、四つの会議に参加しました。それらの会議に参加することで、様々な情報を手に入れることができ、大変勉強になりました。

まず、一つ目として、私は11月8日に横浜で開かれた「第19回図書館総合展」に参加しました。「第19回図書館総合展」は11月7日から11月9日の三日間に開催されたが、授業の関係で一日しか参加しませんでした。8日には私の研究テーマと関連するフォーラムがあり、非常に参考になりました。そのフォーラムは「電子図書館を活用した多文化サービス」というテーマで、ICTを活用した図書館サービスについての講演でした。講演の中、浜松市立中央図書館館長により、浜松市立中央図書館の事例を取り上げ、今まで図書館において軽視された外国人向けの図書館サービスの新たな取り組みについて紹介されました。

次に、二つ目として、私が今年8月から京都市図書館協議会市民委員に任命され、11月17日は市民委員として、「平成29年度第1回京都市図書館協議会」に参加しました。協議会では私が外国人の立場から、外国人向けの図書館サービスの現状について発言し、そして、今後外国人に対しての図書館サービスの可能性についての提言もしました。

三つ目は、今年9月から、私が日本出版学会に入会し、11月20日に開かれた日本出版学会2017年度第5回関西西部会に参加しました。発表テーマは「高麗版大蔵経の受容と現状」であり、私の研究分野とあまり関係がなかったが、一週間後に学会発表があるので、参考として今回の関西西部会に参加しました。

最後に、前日の12月2日に、今までずっと準備してきた日本出版学会2017年度秋季研究発表会に参加し、研究発表をしました。テーマは、今まで報告した通りの「日本の大学図書館における電子ジャーナルと多文化サービスの拡充」でしたが、初めての学会発表なので少し緊張でした。そして、質疑応答の際に、会員の方々から様々な意見と指摘を受けて、新たな問題点に気づき、非常に勉強になりました。

また、12月6日には、私が参加しているあるプロジェクトの公開セミナーも行いますので、最近ではその公開セミナーの準備をしています。